

中期経営計画 2011.4～2014.3

NHKニッパツ

日本発条株式会社
2010年11月16日

中期経営計画 2011.4～2014.3

代表取締役社長
玉村 和己

1-1. 現中計(10中計)をふり返って

(単位:億円)

	10中計目標	11年3月期予想
売上高	6,200	4,500
営業利益	470	320
経常利益	500	320
当期利益	300	190

～前提とする環境の激変～

国内自動車生産 1,100万台超 → 950万台
 為替 115円/\$ → 80円/\$ (下期想定)

1ー2. 13中計の環境認識

- ①リーマンショックの落込みも回復し、世界経済は新興国を中心とした成長路線に回帰。
- ②日本経済は、人口減、財政悪化等の理由により大きな伸びは見込めない。
- ③自動車産業、情報通信産業とも新興国を中心に需要が増大し、成長が継続。
- ④但し、財政・金融その他の要因により世界経済が一時的に混乱する可能性もあり、リスクを常に意識しておく必要がある。

1ー2. 13中計の考え方

なくてはならないキーパーツをグローバルに展開し、お客様からNo.1と評価されるニッパツグループを目指すための基盤づくりを行う3カ年とする。

- ①各グローバルマーケットでのあるべきポジションを明確にし、着実な成長と安定した利益を実現する。
- ②全グループの視点で、人財の能力を最大限に発揮する仕組みを構築する。
- ③開発体制のグローバル最適化と、“ものづくり力”のグローバル化対応を強化する。
- ④事業活動をグローバルに支える、より効率的で高度な本社機能を実現する。
- ⑤ニッパツのビジネスモデルに即した新事業創出活動を全部門で推進する。

1ー3. 13中計の前提条件

①自動車生産台数

世界全体 8,350万台、国内990万台

②HDD需要

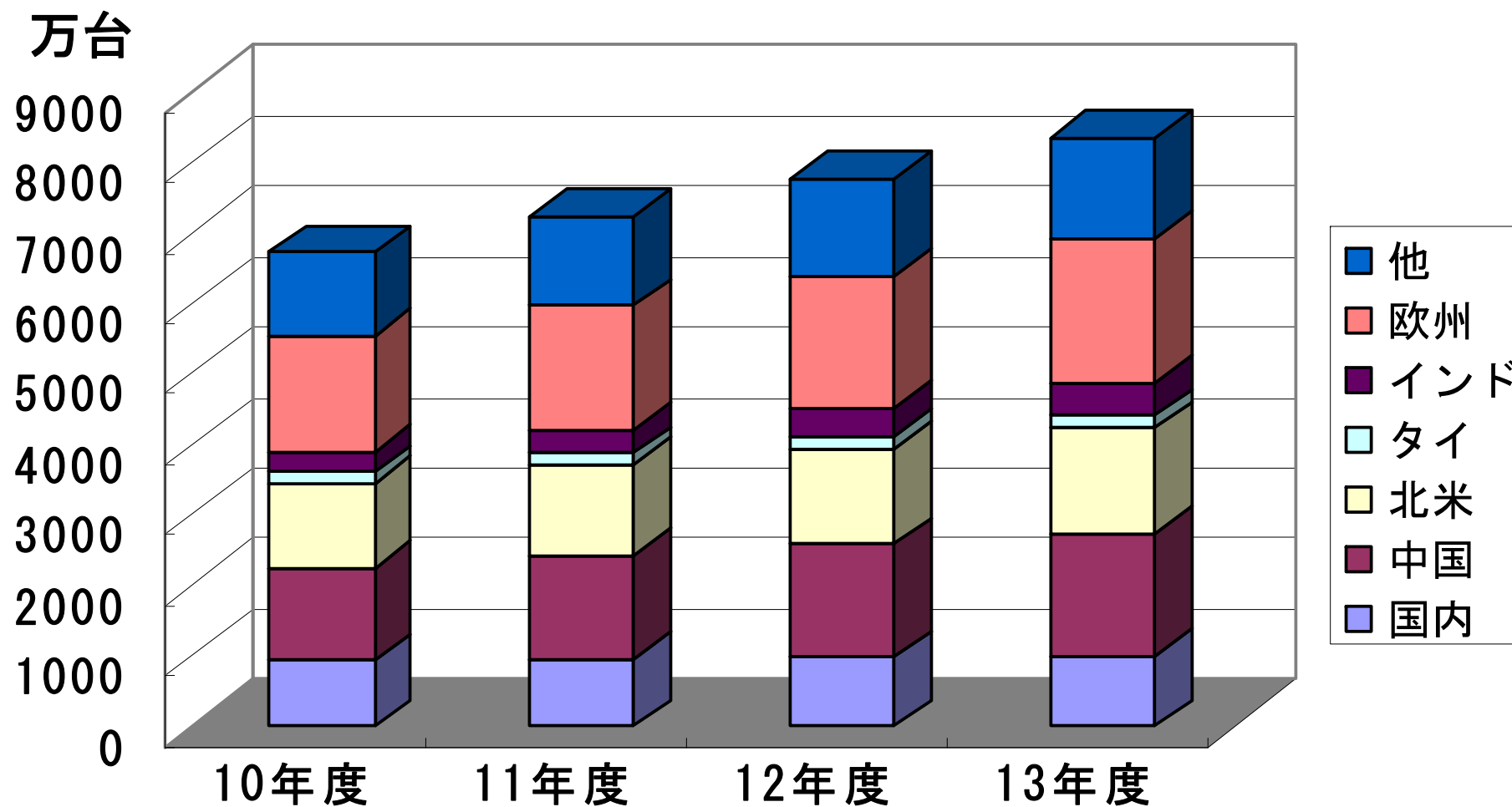
8億台

③為替レート

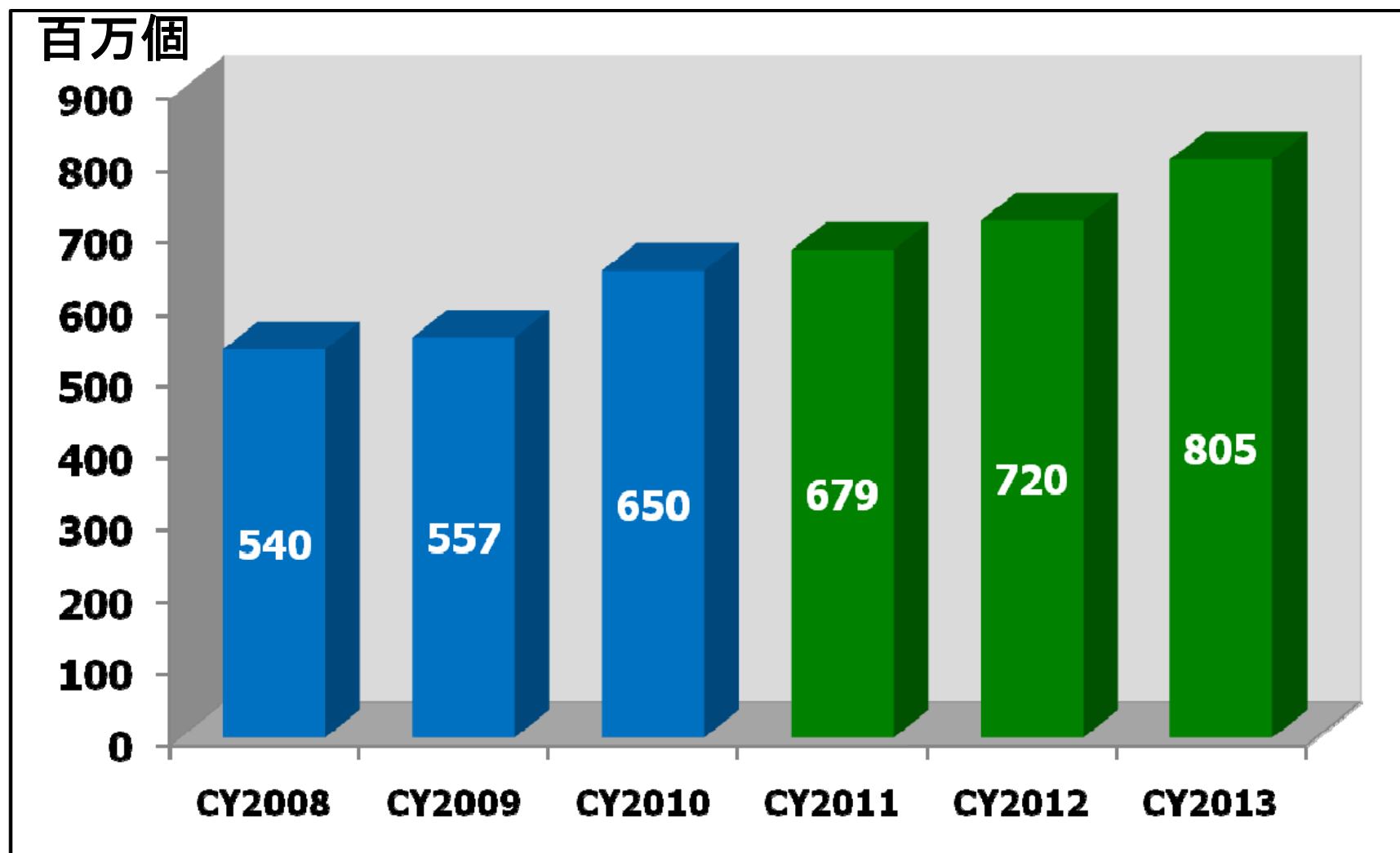
ドル:85円、タイバーツ:2.83円

元:13円

自動車生産台数



HDD需要動向予測



1-4. 各事業における「重点施策」

- ・懸架ばね事業

主力製品の最適生産体制の再構築
とBRICSに於ける市場拡大の確実
な刈り取り

- ・シート事業

グローバル展開の基盤構築

1-4. 各事業における「重点施策」

- ・精密ばね事業

売上拡大(シェアアップ)と新規顧客
開拓、新製品開発

- ・DDS事業

シェアNo. 1メーカーとしての確固た
る地位の確立

1-4. 各事業における「重点施策」

- ・産機事業ほか

既存事業（鉄道・原子力・プラント・インフラ・セキュリティ）の領域を拡大して大きく育てる

13中計の目標

(単位: 億円)

	11年3月期 予想	13中計 目標	増減額	増減率
売上高	4,500	5,600	+1,100	+24.4%
営業利益	320	520	+200	+62.5%
経常利益	320	520	+200	+62.5%

事業別セグメント目標

(単位:億円)

事業別	項目	11年3月期予想	13中計目標
懸架ばね	売上高	920	1,000
	営業利益	55	80
	率	6.0%	8.0%
シート	売上高	1,820	2,300
	営業利益	115	160
	率	6.3%	7.0%
精密部品	売上高	1,150	1500
	営業利益	110	180
	率	9.6%	12.0%
産業機器 ほか	売上高	610	800
	営業利益	40	100
	率	6.6%	12.5%
合計	売上高	4,500	5,600
	営業利益	320	520
	率	7.1%	9.3%

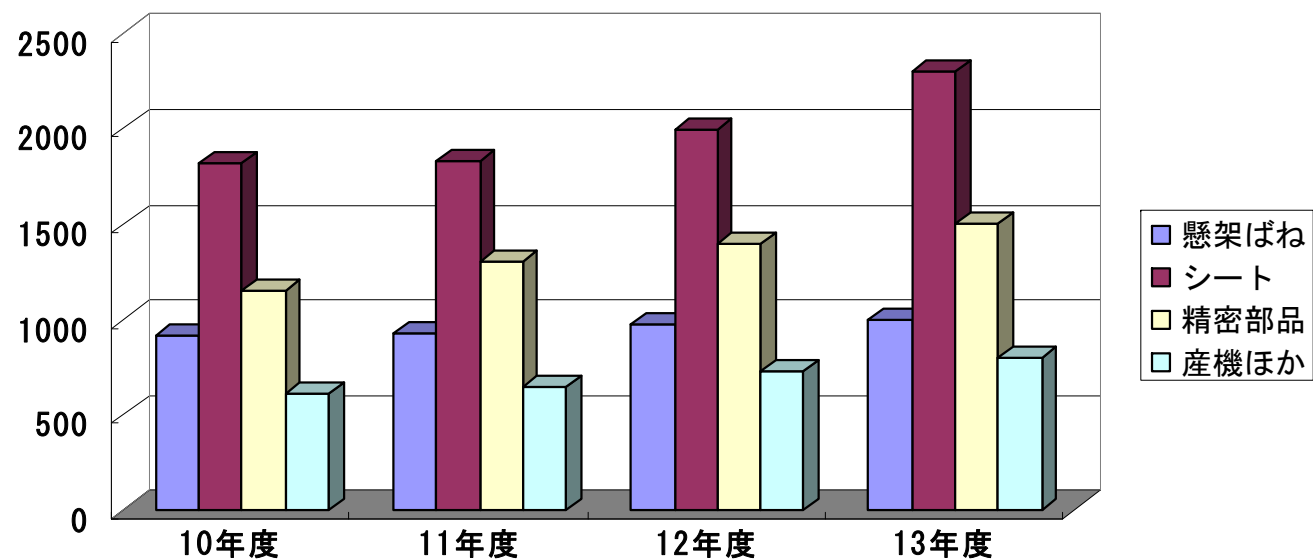
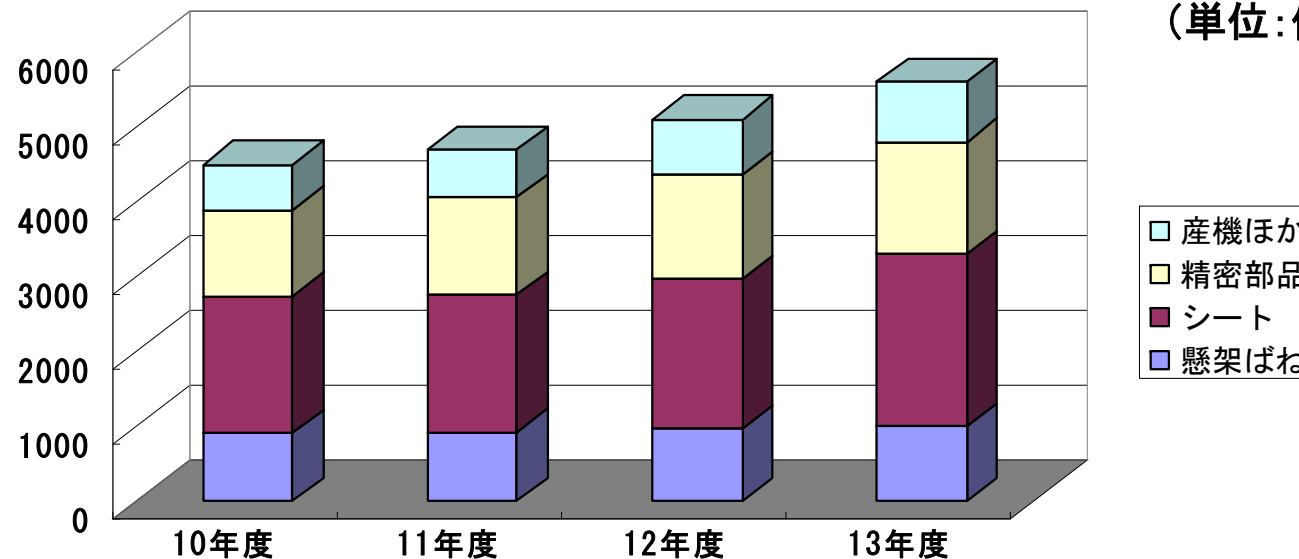
所在地別セグメント情報

(単位:億円)

所在地別	項目	11年3月期予想	13中計目標
日 本	売上高	3,194	3,620
	営業利益	170	280
	率	5.3%	7.7%
北 米	売上高	440	460
	営業利益	15	20
	率	3.4%	4.3%
アジア	売上高	1,040	1,770
	営業利益	135	220
	率	13.0%	12.4%
消去	売上高	▲174	▲250
合計	売上高	4,500	5,600
	営業利益	320	520
	率	7.1%	9.3%

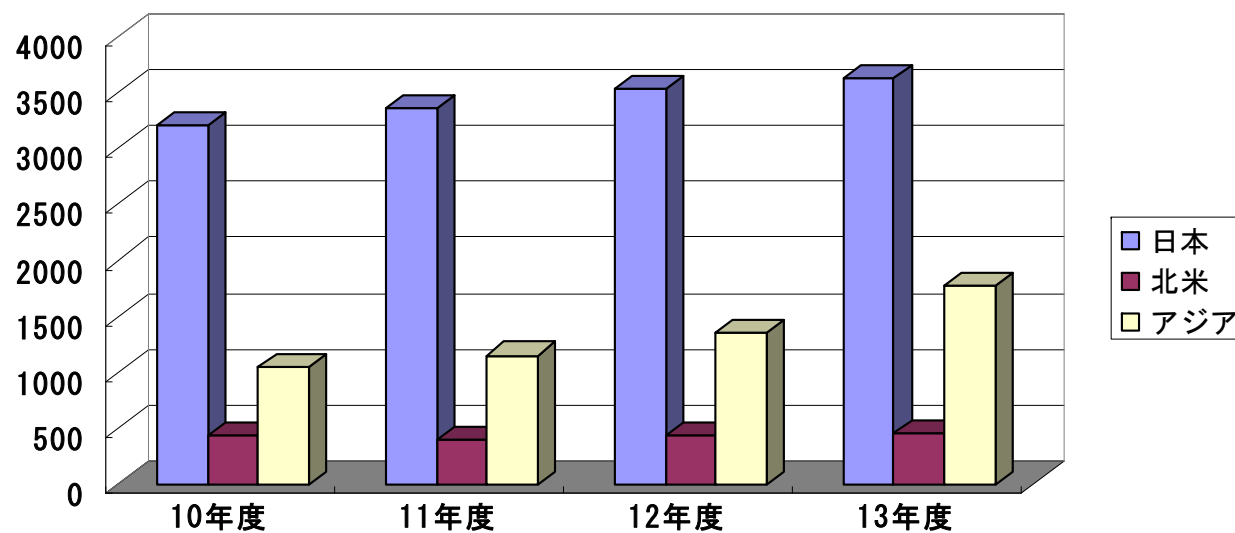
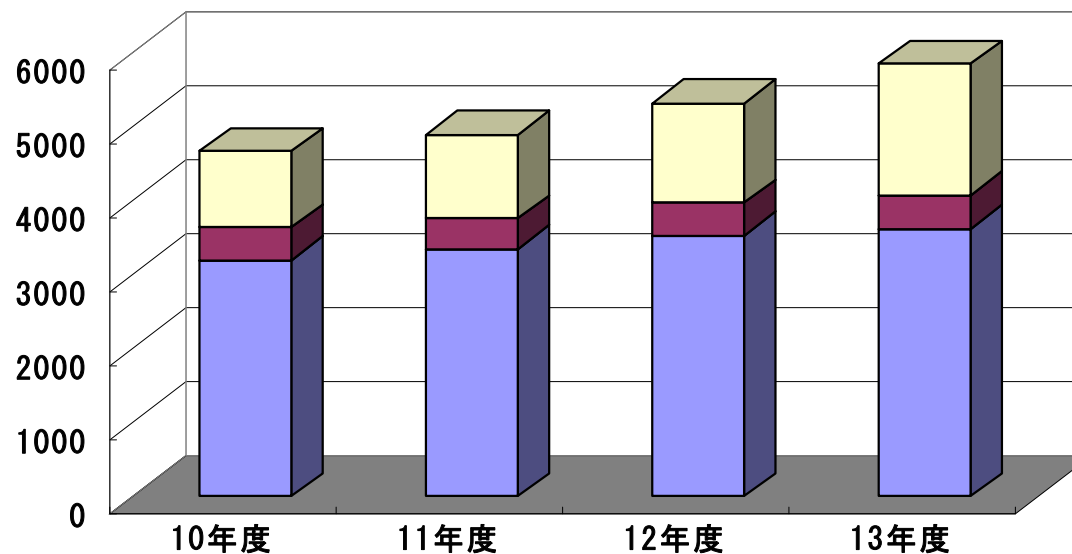
事業別 売上計画

(単位:億円)



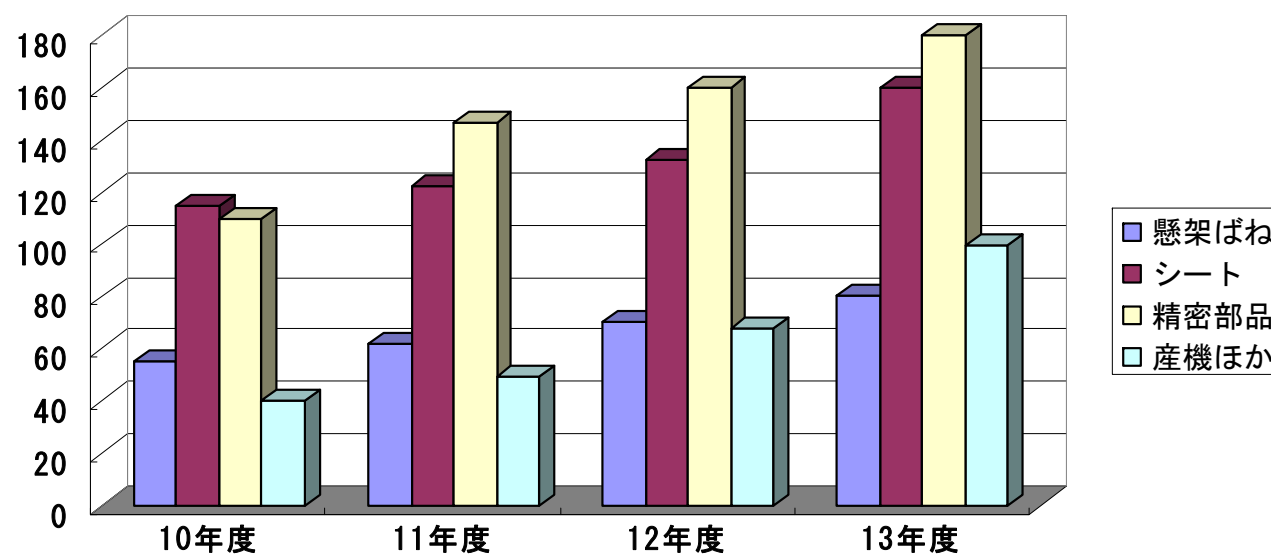
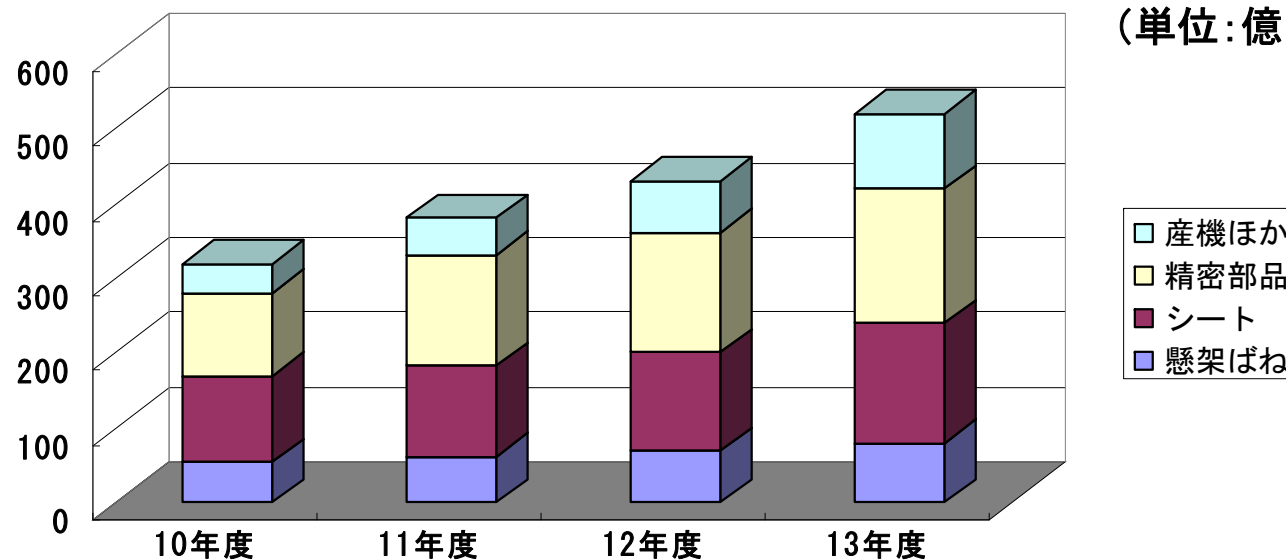
所在地別 売上計画

(単位:億円)



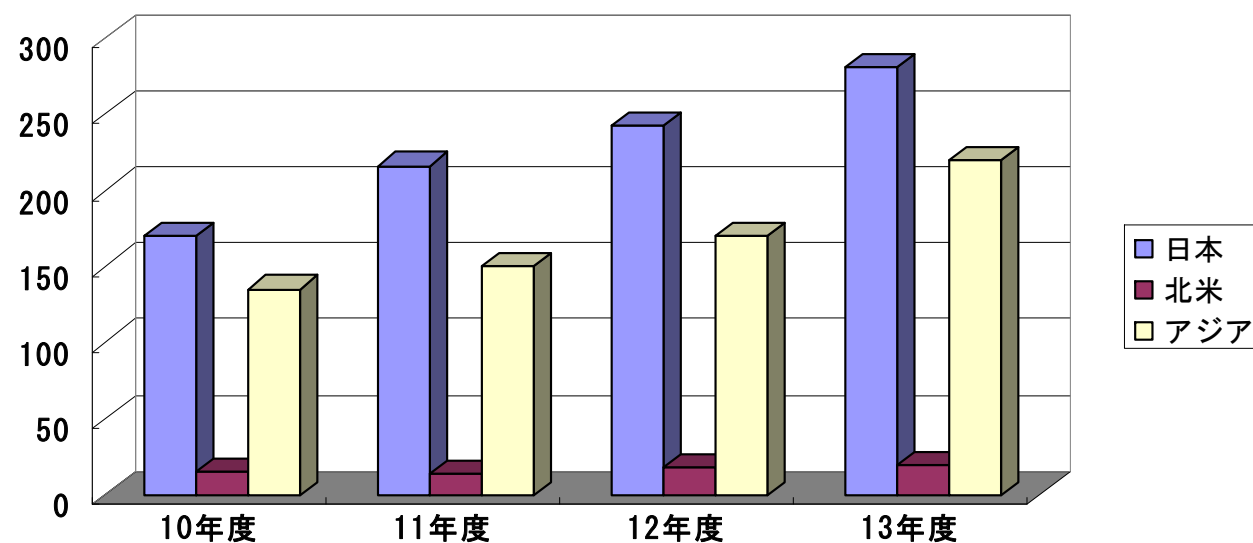
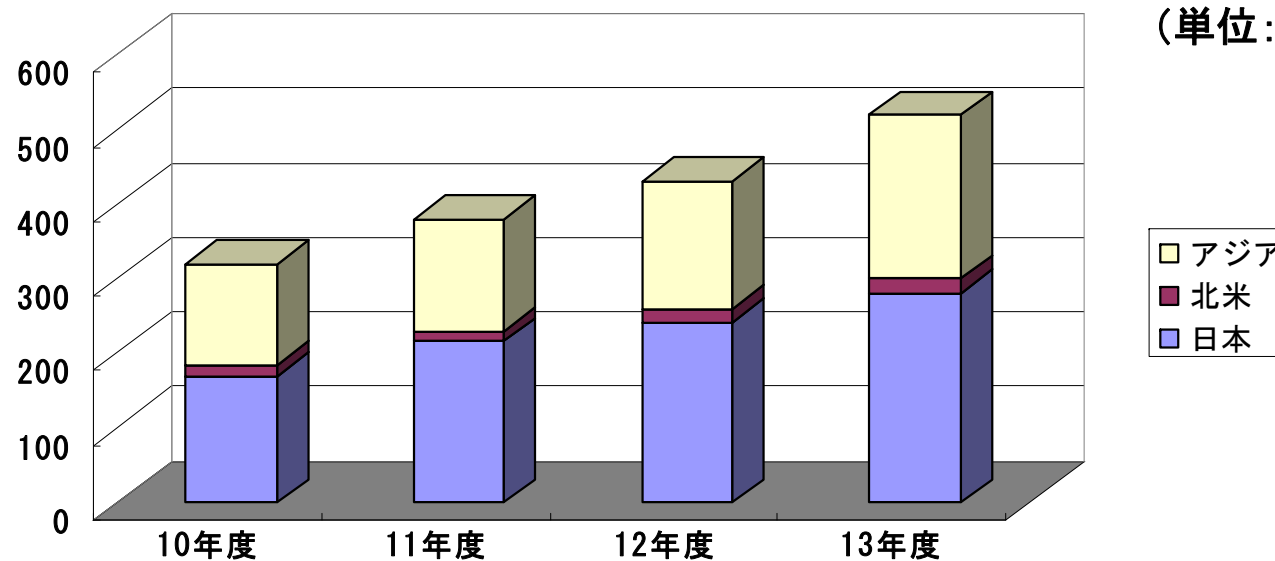
事業別 利益計画

(単位:億円)



所在地別 利益計画

(単位:億円)



〔注記〕

業績見通しには、現時点での入手可能な情報と当社の今後の計画等の将来予測が含まれています。国内外の経済事情、為替レート等不確実な要因の状況変化によって、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。